

風のてのひら

～南高だより No. 98～

令和2年10月23日発行

発行責任者：長崎県立五島南高等学校

校長 大川 周一

校長室の窓から

「長咲き」と「返り咲き」

とある秋の日の週末、衣替えと部屋の大掃除に精を出した。息抜きに熱いコーヒーを片手に2階のベランダに出てみると、抜けるような青空に一段と色づいた遠くの山々が眼に飛び込んでくる。五島灘^{なだ}を吹き抜ける清涼な風が頬を撫^なで、秋の深まりを一層感じさせてくれる。

住宅の前にある畑の生垣には、槿（ムクゲ）の木が植えてあり、淡い紫色の大輪の花がやわらかな日差しに包まれ静かに揺れている。ムクゲはアオイ科フヨウ属の低木で、芙蓉（フヨウ）やハイビスカスも同じ仲間である。初夏から秋にかけて新たな花が次々と咲き続け、長期間その美しい花を愛^めでることができると、日本では古くより生垣や庭木の鑑賞用として栽培されてきた。また、お隣の韓国では国花としても知られている。ムクゲの花言葉は「信念」「新しい美」とされている。どんなに才能があっても、努力が伴わなければ何事も結実^{けつじつ}しない。そして、そうした自分を突き動かすものこそが「信念」であろう。10月12日から令和2年度後期がスタートした。有^{ゆうしゅう}終の美を飾れるよう、後半戦もそれぞれの立場で確固たる信念を持って、充実した学校生活になることを期待したい。



話は変わるが、10月というのに沿道の桜（ソメイヨシノ）が開花している様子をよく目にする。いわゆる「返り咲き（狂い咲き）」という現象である。通常、夏に形成される桜の花芽は、葉で合成されるアブシシン酸という植物ホルモンによって開花が抑えられているため、気温が高くても夏や秋に開花することはない。気温が急激に低下する冬になると枝先から落葉が始まるため、アブシシン酸の抑制作用が届かなくなって、花芽の休眠が解除され、春の気温の上昇とともに一気に開花を始める。

ところが、9月に襲来した台風9号・10号の暴風と塩害は、桜の葉を枯らし落葉させてしまった。そのため、花芽の休眠が一時的に解除され、どうやら秋のぽかぽか陽気に誘われて勇み足で開花してしまったようだ。桜は、ミツバチやハナアブなどの昆虫に花粉を運んでもらうことで受粉を助けてもらっている。生命にとって共通の営みは子孫を後世に残すことにあるが、秋が深まる今となつては、昆虫の活動も不活発で受粉どころではないだろう。返り咲きは、桜にとってまさに死活問題である。たぶん来春は、満開の桜を愛でることができないかと思うと残念である。大きな台風の襲来は、我々に災害をもたらすだけでなく、長期的に島の生態系にもさまざまな影響を及ぼす結果となった。



人生の達人セミナー

10月7日(水)長崎女子短期大学特別専任教授の松尾公則先生をお招きし、「ふるさとの自然を知ろうー福江島の動物たちー」と題して人生の達人セミナーを行っていただきました。

松尾先生は五島に住む動物の生態を通して、五島という故郷を思う気持ちの大切さをお話してくださいました。先生が発見された『青いカエル』もご持参いただき、生徒たちは興味津々でのぞき込んだり触ったりしていました。



第1回ふるさと教育研究発表会

10月8日(木)第1回ふるさと教育研究発表会が行われ、2年生はスライドを用いて7~8月に実施したインターンシップの報告を発表し、1年生は総合的な探究の時間に五島について調べた内容をポスターで発表しました。質問も多く出て、有意義な発表会となりました。

来年度の1月には第2回の発表会を予定しています。今回の反省を生かして、より良いものにしていきます。



野球部優勝!

10月15日(木)に行われた第56回九州地区高校軟式野球県大会において、軟式野球部は玉成高校との連合チームで北松農業高校と対戦しました。

延長12回の激闘の末、5対1で勝利し、見事優勝することができました。応援してくださいました皆様、ありがとうございました。



11月



- 9~20日 長崎っ子の心を見つめる教育週間
- 12日(木) 生徒会役員選挙
- 13日(金) 県総文祭開会式
- 17日(火) マラソン大会
- 18日(水) 開校記念日
- 24~27日 第3回考査
- 27日(金) 生徒会役員任命式



ご相談やお気づきがあればいつでもご連絡ください。
電話 0959-82-0132
FAX 0959-82-0185

『漂着物調査』ボランティア募集中!!

以下の日程で実施予定です。
(中止の場合はホームページでお知らせいたします。)
【日程(予定)】13:30~15:00

11月6日<中浜海岸> 11月20日<浜田海岸>

担当:岩永・奥野

